



食品加工(帆立貝・カキ貝・魚介類・肉)

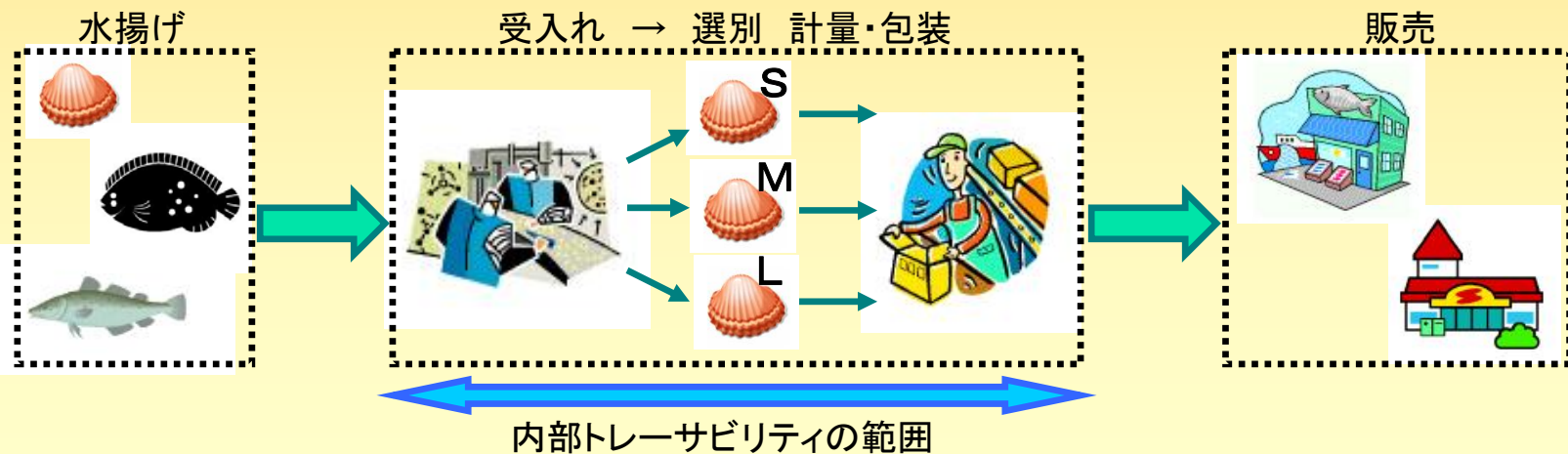
トレーサビリティシステムシステム

2009年10月13日

株式会社 ダブルクリック

トレーサビリティの提案

本提案書では、原料仕入れから製品出荷までの範囲での、「内部トレーサビリティ」(internal traceability)に関して提案します。(以下、提案するトレーサビリティシステムを、「BIBLOトレーサビリティシステム」)
これにより、製品から原料へ情報を遡って提供を行えるようになります。





トレーサビリティの適用範囲

システムでの取扱い品目は、

1. ホタテ貝柱製品
2. 真だら製品
3. 真がれい製品
4. 黒がれい製品
5. カスベ製品
6. タコ製品
7. その他魚類
8. 肉類

を対象とします。

その他の品目に関しては、必要に応じて対象品目の範囲を広げていくこととします。

(品目の中には、入力方法の変更等で対応可能な品目もあります。)



識別番号(ロット番号)の付与

製造情報を追跡するために原料、加工の各段階で識別が行えるようにロット番号を付与して管理を行います。

ロット番号は、

1. 原料ロット番号 : 原料を受入れた段階で付与
 2. 半製品(中間)ロット番号 : 加工段階の中間で付与
 3. 製品ロット番号 : 製品を製造した段階で付与
- の各段階で重複しない番号を付与するようになります。

ロット番号形式(案)

ロット番号は、商品情報、日付(製造, 受入等), 連番, 種別で構成するものとし、以下の形式を用います。

商品コード	日付(西暦年下2桁+月)	連番	種別	
8桁	4桁	3桁	1桁	計 16桁



識別番号(ロット番号)の詳細

1. 商品コード(8桁)

ロット番号の先頭には、現行の販売管理で使用している商品コードをそのまま使用しロット番号から商品进行特定できるようにします。

2. 日付

製造日付を西暦下2桁+月2桁の計4桁で表します。

3. 連番

連番は、商品及び日付ごとの連番とします。(日付は、月までの情報のため、連番は、月単位でのものとなります。

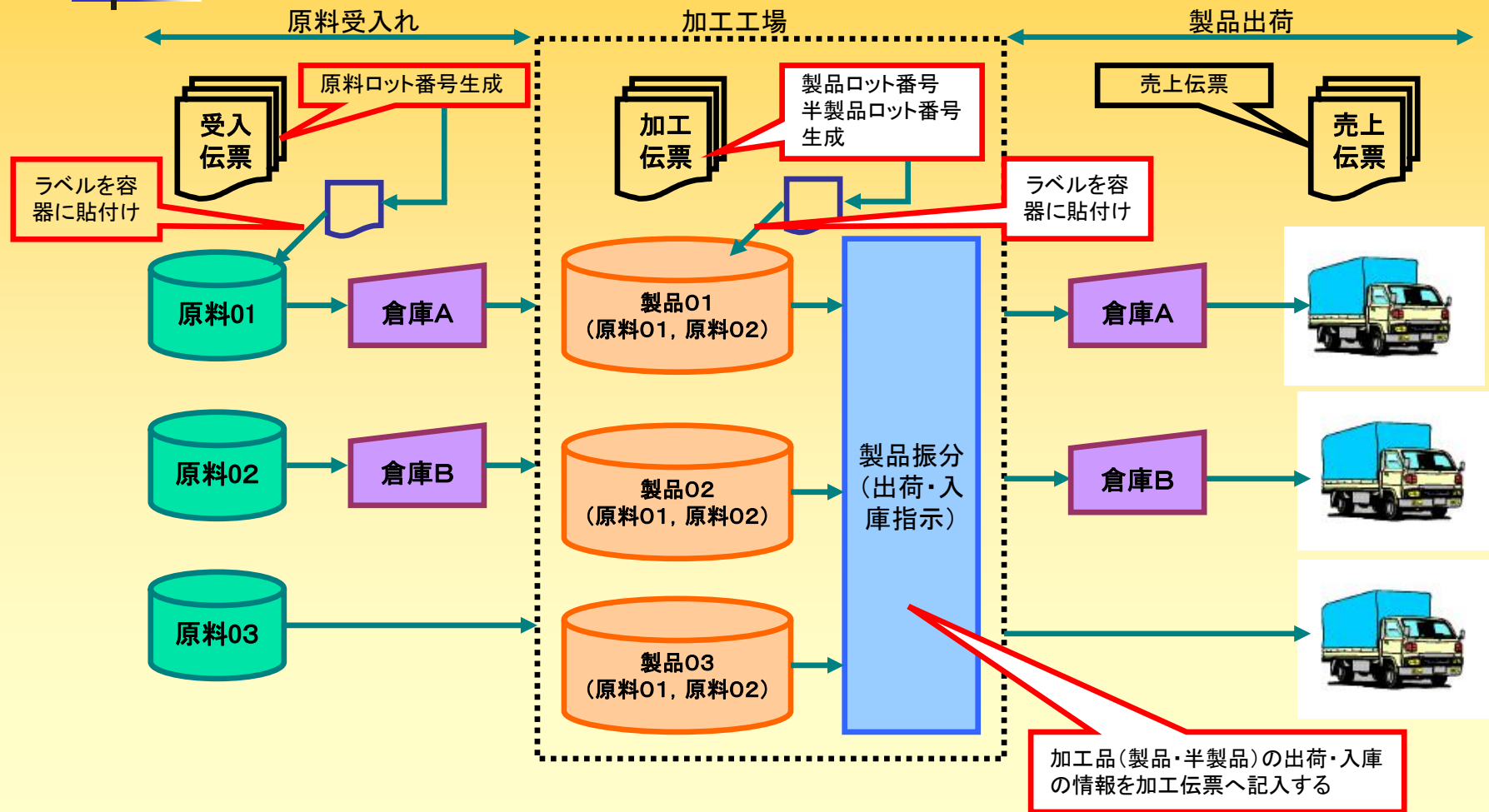
4. 種別

ロット番号の種別を表し、

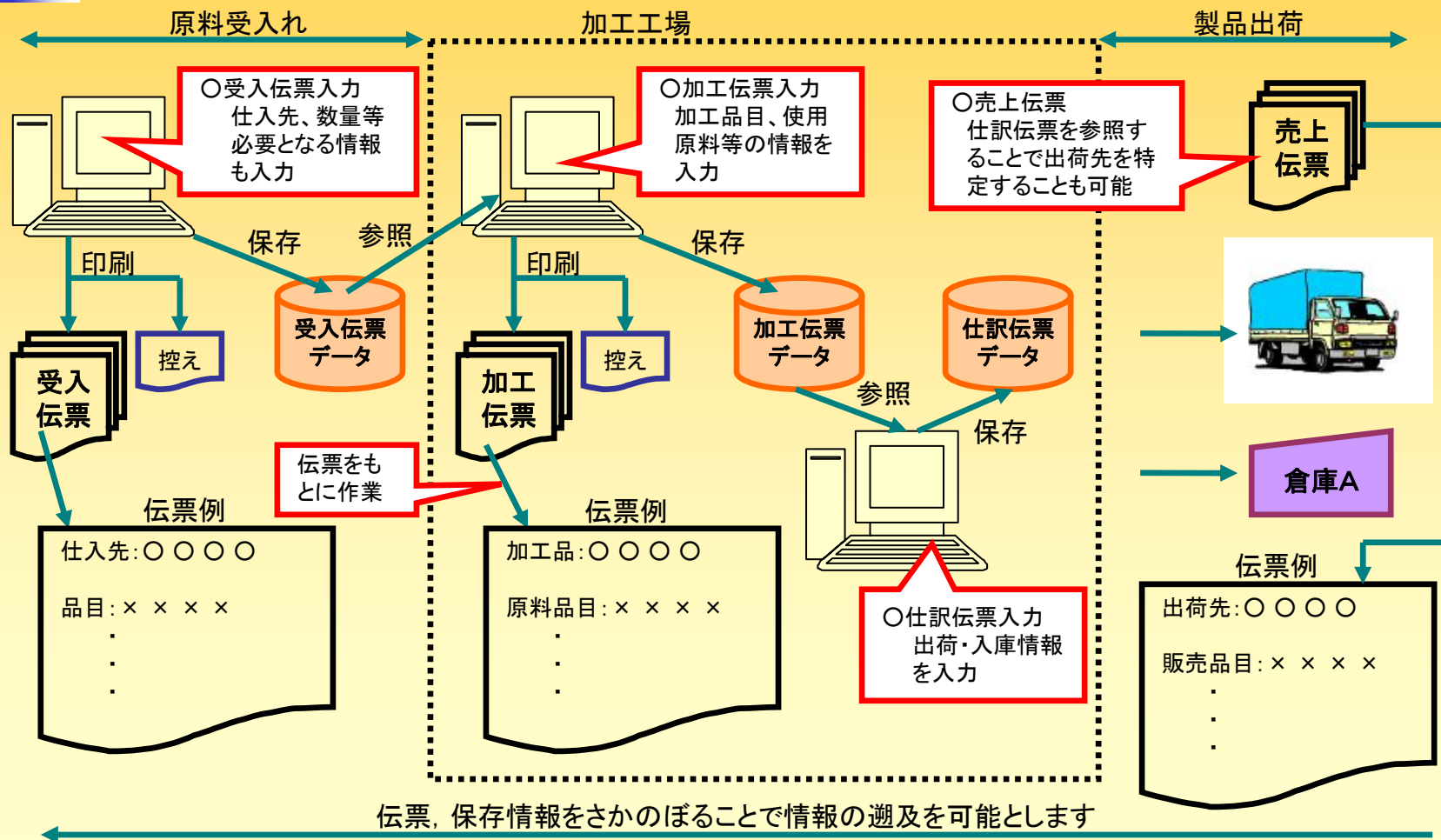
A:原料, B:半製品, C:製品

とします。

システムの概略の流れ



入力データの概略の流れ





提案するシステムの概要

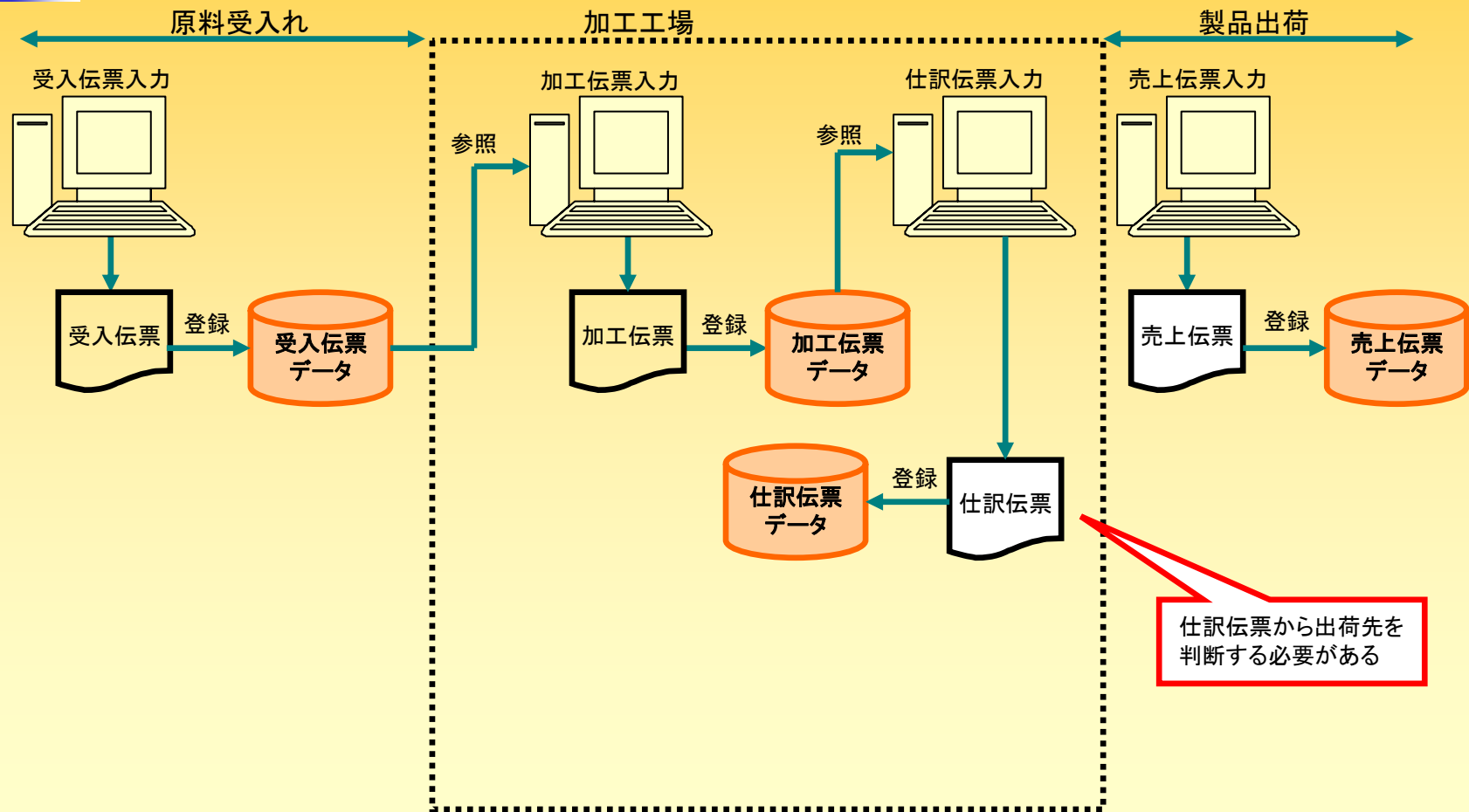
BIBLOSトレーサビリティシステムとして既存のシステム(現在使用している販売管理、在庫管理等)との連携の有無により、以下の3パターンの提案システムの形態が考えられます。

1. 既存システムとは連携せず単独の場合(トレーサビリティのみ)
2. 販売管理とのみ連携する場合(トレーサビリティ+販売管理)
3. 販売管理・在庫管理と連携する場合
(トレーサビリティ+販売管理+在庫管理)

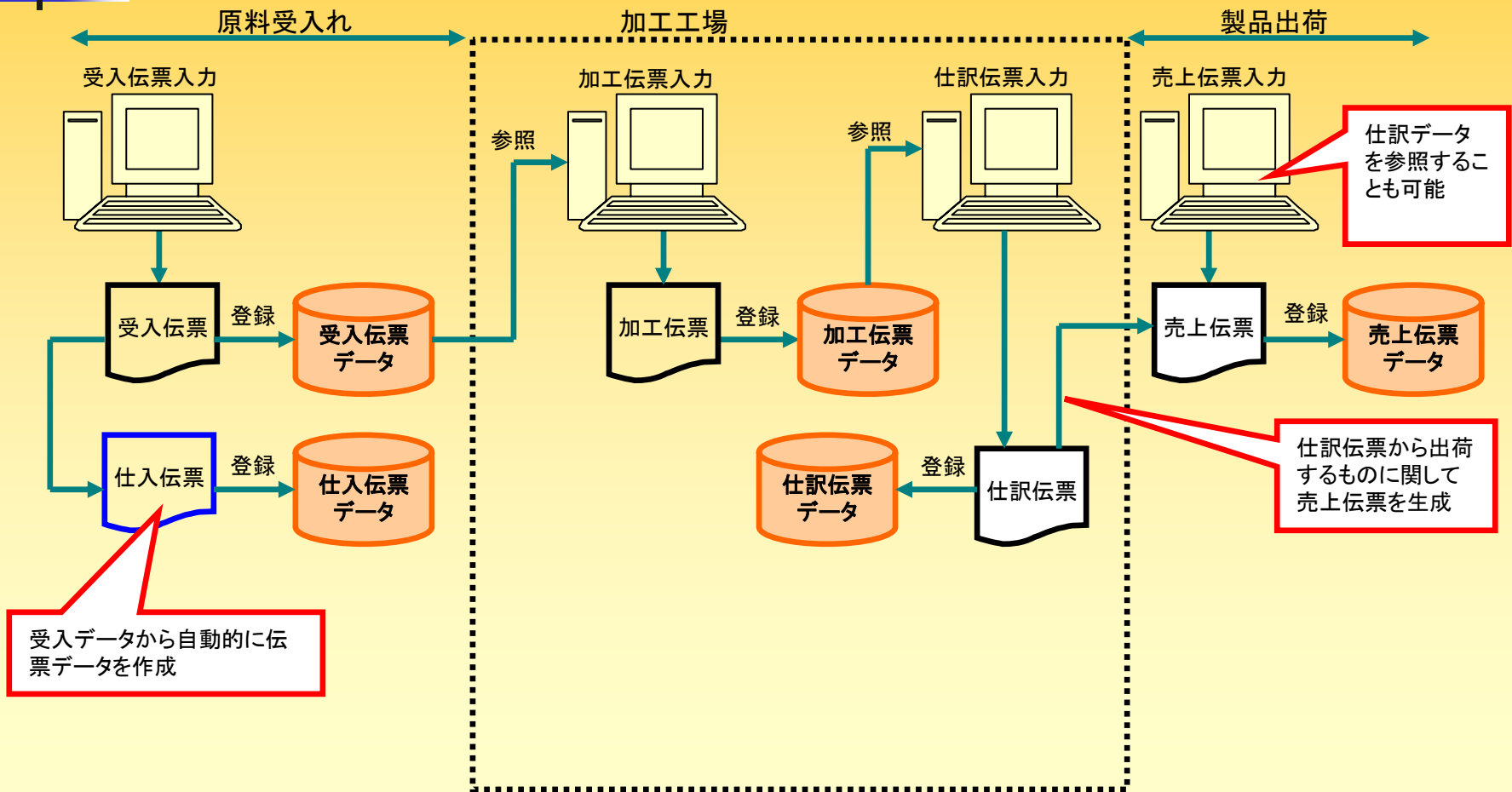
上記、3パターン全てにおいて使用するサーバ機、データベースに関しては現在稼働中の既存機器を使用します。

(データベースに関しては、テーブル、データ定義等は、追加・修正することとなります。)

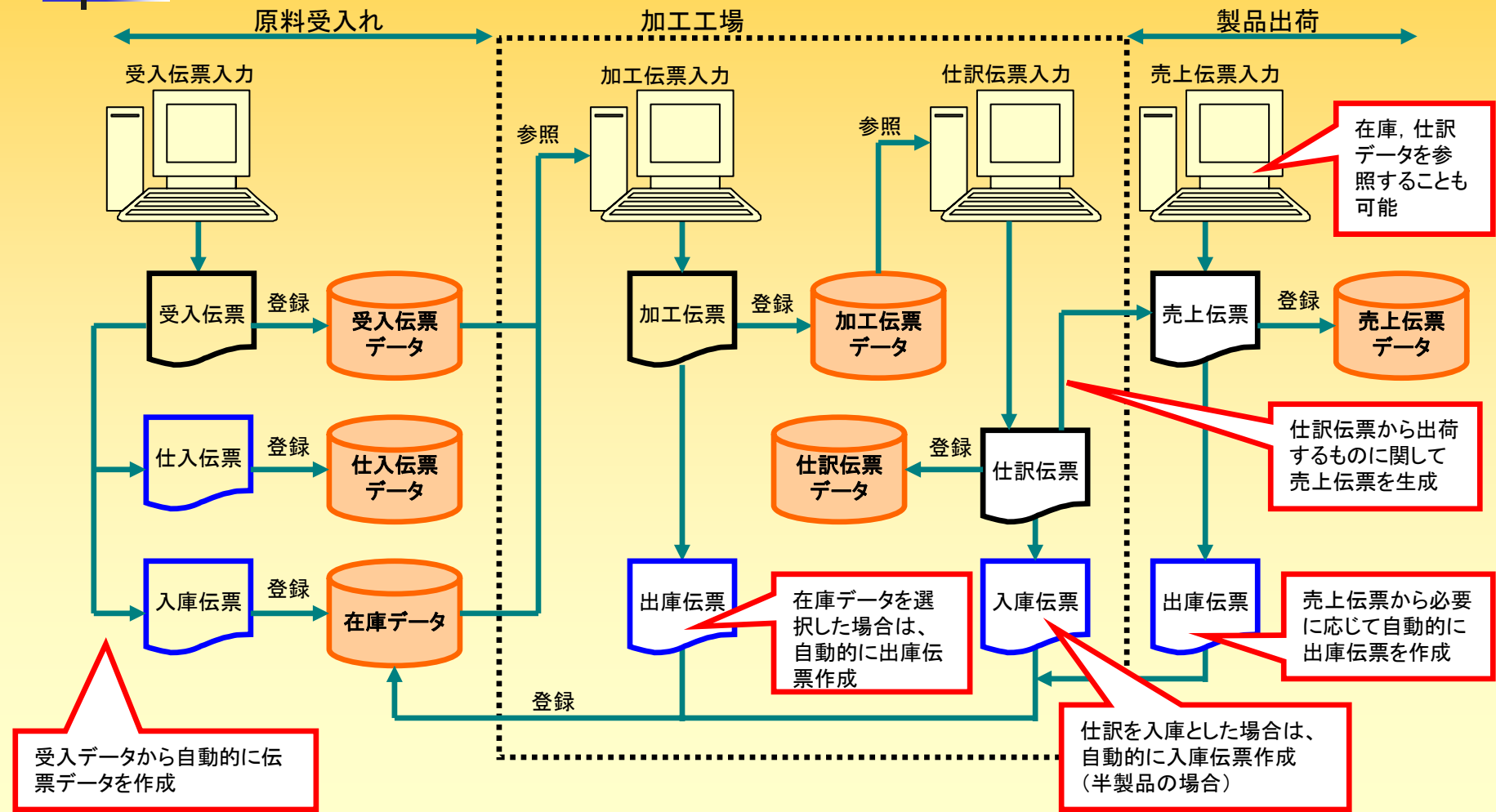
システム概要 その1 (トレーサビリティのみ)



システム概要 その2 (トレーサビリティ+販売管理)



システム概要 その3 (トレーサビリティ+販売管理+在庫管理)



トレーサビリティ情報の提供

BIBLOSTトレーサビリティシステムで蓄積されたトレーサビリティ情報を提供・公開するためにシステム内に製品ロット番号からトレーサビリティ情報を検索できる機能を設けます。

検索した結果を印刷しFAXによりトレーサビリティ情報を提供する事ができるようになります。

将来的には、検索結果をメールで提供する場合は、webサーバを用意してインターネット上で公開することも考えられます。

